

地域・防災だより

第50号 2020年9月
天嶽院下自治会・自主防災会
(作成協力)防災協カグループ

犯罪の無い安心・安全な地域づくりを目指して

自治会が「防犯情報のお知らせ」を作成し、回覧やホームページで呼掛けています。毎月の犯罪事案の紹介と警察からの注意喚起を掲載しています。特に**特殊詐欺・オレオレ詐欺**の手口は年々巧妙になり、自治会内でも不審な電話が掛かってきたという情報が、先月ありました。また警察署の要請により自治会設置の防犯カメラ映像の提出もしています。ご近所とのコミュニケーションを良くし、みんなで安心・安全な地域づくりを目指していきましょう。



御幣下公園のラジオ体操を藤沢市が動画撮影

～目指そう健康寿命日本一藤沢～「ラジオ体操2020」の一環として8月19日行われ、常連の約15名の皆さんがいつものように朝の体操を元気に楽しみました。例年夏休みには子供たちが参加して賑やかなラジオ体操会になりますが、今年はコロナ禍の影響もあり、子供たちが参加しない静かな夏休みのラジオ体操会となりました。



自治会(自主防災会)が「自主防災訓練」実施(7月18日・土)



◎朝: 安否確認「タオル掛け」

雨天の中、多くの自治会員の協力により、161家庭が実施し、実施率28.9%でした。(昨年実績:131家庭、実施率23.5%)

◎午前中: 防災講話会(市民の家、講師:大森自治会長)

- ① 東北大震災・津波被害の教訓
- ② 村岡地区の防災取組みの現状
- ③ 村岡地区災害ボランティアコーディネーターの活動状況の報告などでした。



防災キャンペーン(家庭備蓄) 藤沢も含まれる南海トラフ巨大地震対策では、事前防災を重視し家庭での備蓄を1週間以上と呼び掛けています。従来3日分以上と言われてきましたが、避難施設の藤ヶ岡中学校は、藤沢市が一定の備蓄を備え、かつ自治会(自主防災会)も若干の防災機材と、水や非常食の備蓄を行っていますが、充分ではありません。この為各家庭での食料・水、カセットコンロ、簡易トイレ、乾電池などの備蓄を最低でも1週間分確保して頂きたいのです。大災害時は公的支援が遅れる為、まずは「自助」が大原則であり、その上で「共助」「公助」になるのが過去の大災害からの教訓です。